2024年3月期 決算説明会

2024年5月28日

能美防災株式会社 NOHMI

1. 2024年3月期　連結決算概要

受注高、受注残高は２期連続で過去最高を更新

受注高は全般的に堅調に推移
期末時点の受注残高も、過去最高を記録した前期を更新

部品の供給制約は概ね解消、売上高も過去最高

期初時点での受注残高が過去最高の水準であった中、
部品の供給制約も概ね解消されたことなどから、売上高も過去最高を更新

堅調な受注環境の中、利益も計画を上回る

受注環境が想定よりも堅調に推移したことに加え、
計画的に価格改定に取り組んだことなどから、利益も計画を超過

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

2024年3月期 連結業績

（百万円）

	2023/3	2024/3		前期比		計画比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	114,168	115,000	123,492	+9,324	+8.2%	+8,492	+7.4%
売上高	105,537	113,800	118,506	+12,968	+12.3%	+4,706	+4.1%
売上原価率	67.0%	66.7%	66.7%	△0.3pt	—	+0.0pt	—
売上総利益	34,859	37,910	39,473	+4,613	+13.2%	+1,563	+4.1%
販管費	25,980	27,910	27,810	+1,830	+7.0%	△99	△0.4%
営業利益	8,879	10,000	11,662	+2,783	+31.3%	+1,662	+16.6%
売上高営業利益率	8.4%	8.8%	9.8%	+1.4pt	—	+1.0pt	—
経常利益	9,420	10,300	12,242	+2,822	+30.0%	+1,942	+18.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,022	7,230	8,574	+1,551	+22.1%	+1,344	+18.6%
EPS（円）	116.42	119.83	142.10				
ROE	6.2%	6.3%	7.2%				

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高・利益

（百万円）

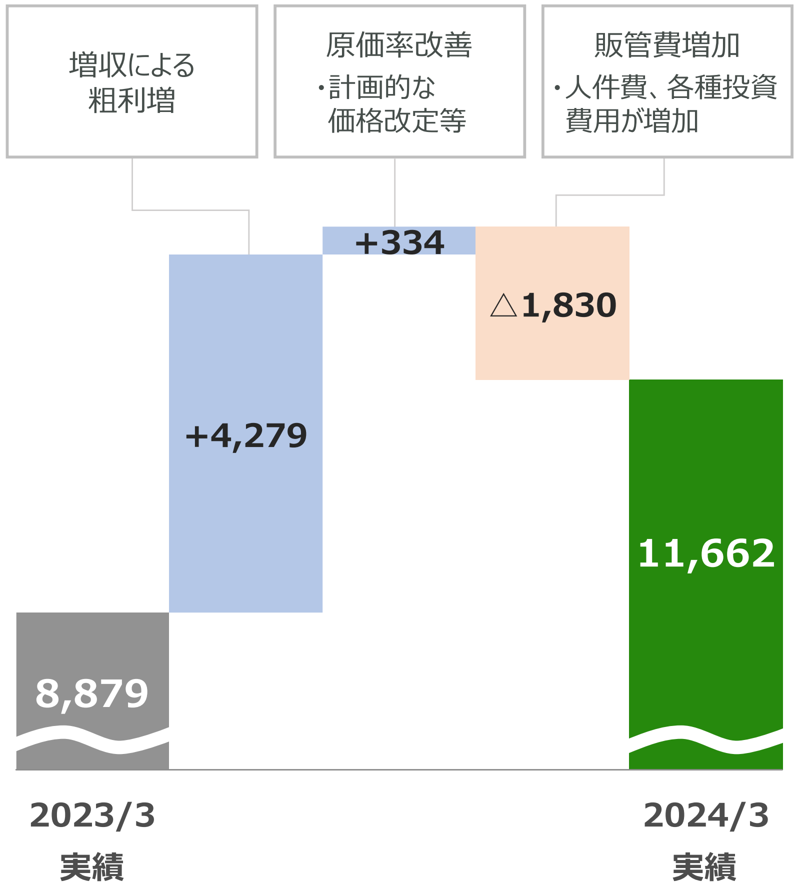
		2023/3	2024/3		前期比	計画比
		実績	計画	実績	増減額	増減額
火災報知設備	売上高	39,760	42,297	**43,259**	+3,498	+961
	セグメント利益	6,509	6,851	**7,674**	+1,165	+823
	(利益率)	(16.4%)	(16.2%)	(17.7%)	(+1.3pt)	(+1.5pt)
消火設備	売上高	32,479	37,197	**38,275**	+5,796	+1,077
	セグメント利益	4,231	5,474	**5,020**	+788	△454
	(利益率)	(13.0%)	(14.7%)	(13.1%)	(+0.1pt)	(△1.6pt)
保守点検等	売上高	28,518	29,600	**32,143**	+3,625	+2,543
	セグメント利益	5,807	6,213	**7,259**	+1,451	+1,045
	(利益率)	(20.4%)	(21.0%)	(22.6%)	(+2.2pt)	(+1.6pt)
その他	売上高	5,168	5,092	**5,309**	+141	+216
	セグメント利益	283	88	**251**	△32	+162
	(利益率)	(5.5%)	(1.7%)	(4.7%)	(△0.8pt)	(+3.0pt)
消去または全社	売上高	△388	△388	△481	△92	△92
	セグメント利益	△7,952	△8,628	△8,542	△590	+85
連結	売上高	105,537	113,800	**118,506**	+12,968	+4,706
	営業利益	8,879	10,000	**11,662**	+2,783	+1,662

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

営業利益増減分析

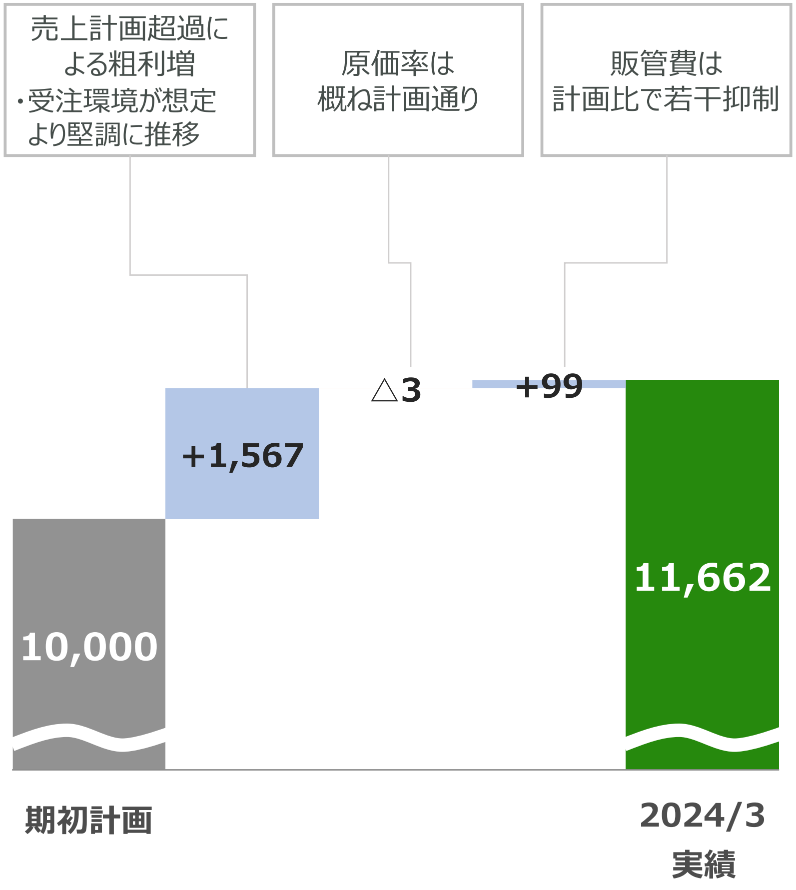
対前期比

（百万円）



対計画比

（百万円）

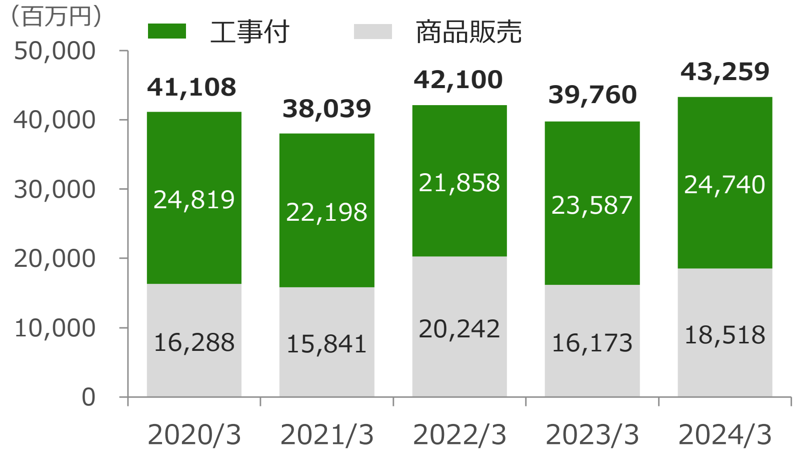


©2024 NOHMI BOSAI LTD.

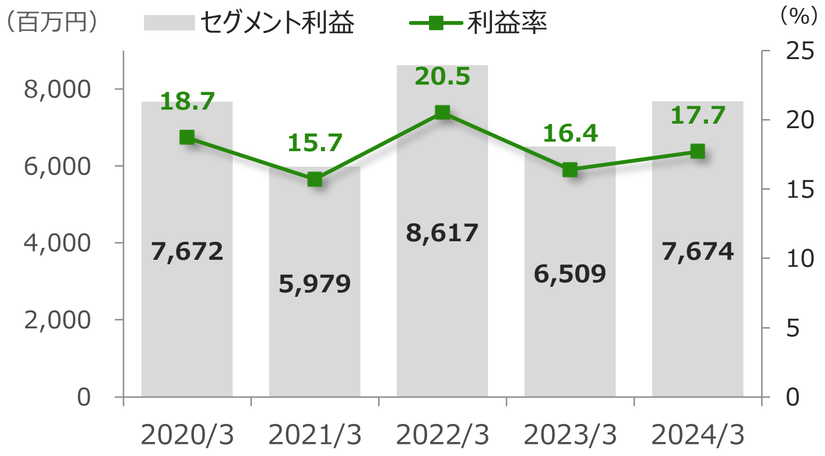
セグメント別情報

火災報知設備　消火設備　保守点検等

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



（百万円）	2023/3	2024/3		前期比（%）	計画比（%）
	実績	計画	実績		
受注高	**40,707**	**44,200**	**44,444**	**+9.2**	**+0.6**
受注残高	**13,594**	—	**15,033**	**+10.6**	—
売上高	**39,760**	**42,297**	**43,259**	**+8.8**	**+2.3**
工事付	23,587	24,637	24,740	+4.9	+0.4
商品販売	16,173	17,660	18,518	+14.5	+4.9
セグメント利益	**6,509**	**6,851**	**7,674**	**+17.9**	**+12.0**

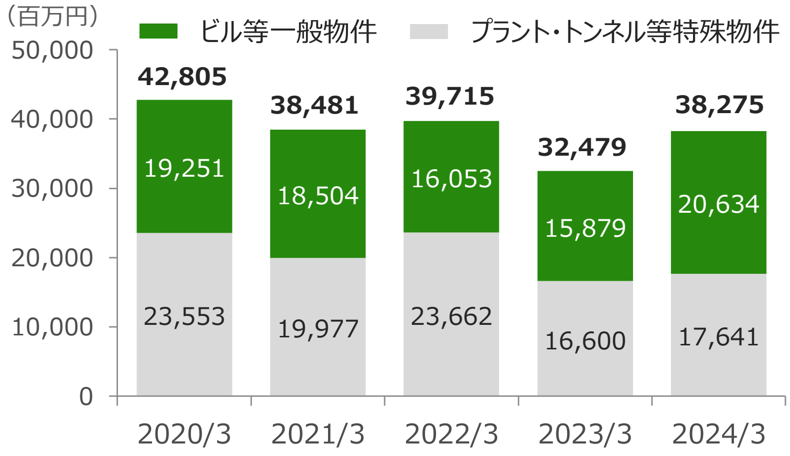
- 部品の供給制約が概ね解消されたことなどから、商品販売を中心に増収増益。
- 原材料価格の上昇に対して計画的に価格改定に取り組んだことなどから利益率改善。
- 受注高は引き続き高水準。売上高、受注残高は過去最高。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

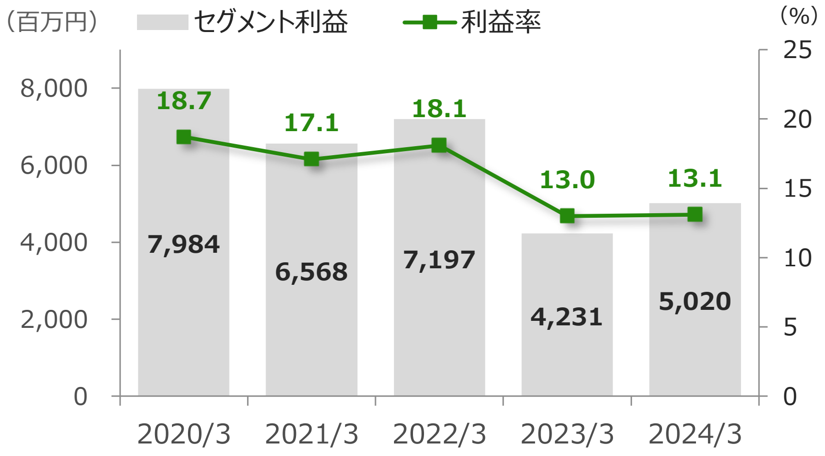
セグメント別情報

火災報知設備 消火設備 保守点検等

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



（百万円）	2023/3	2024/3		前期比（%）	計画比（%）
	実績	計画	実績		
受注高	**39,158**	**36,300**	**40,773**	**+4.1**	**+12.3**
受注残高	**38,857**	―	**41,385**	**+6.5**	―
売上高	**32,479**	**37,197**	**38,275**	**+17.8**	**+2.9**
一般物件	15,879	21,557	20,634	+29.9	△4.3
特殊物件	16,600	15,640	17,641	+6.3	+12.8
セグメント利益	**4,231**	**5,474**	**5,020**	**+18.6**	**△8.3**

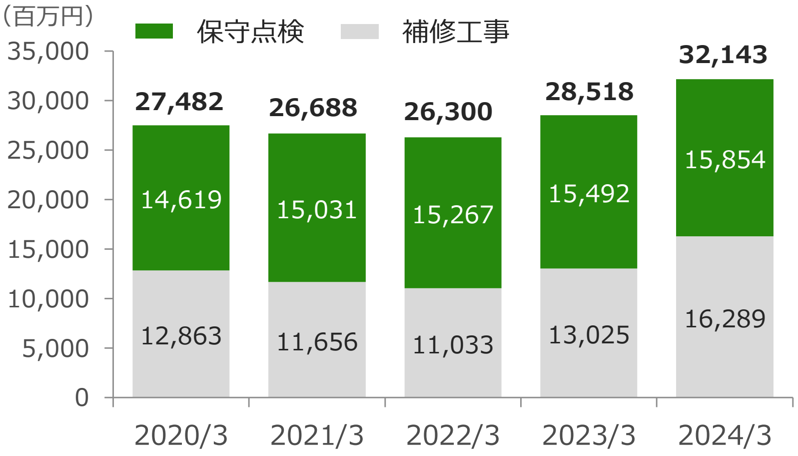
- 期首時点での受注残高が高い水準であったことなどを背景に増収増益。
- 需要は堅調に推移しているものの、採算性の高い物件が少なく、利益率は横ばい。
- 工事の進捗遅れなどから利益は計画を下回ったものの、期末時点の受注残高は過去最高。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

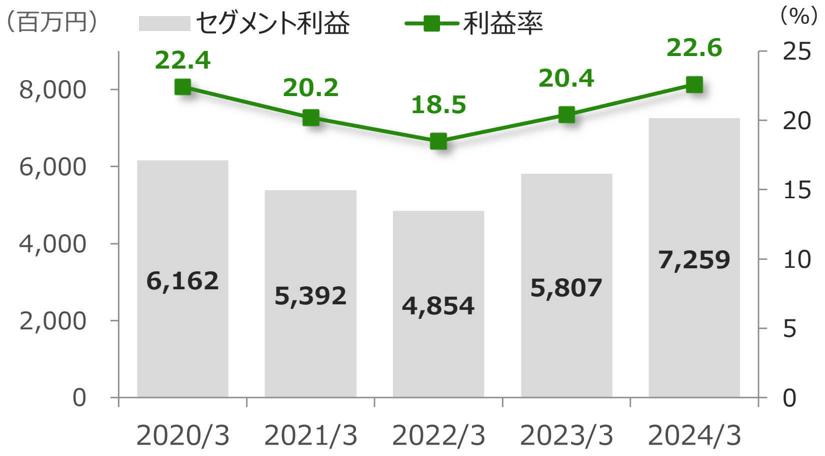
セグメント別情報

火災報知設備　消火設備　**保守点検等**

売上高（消去前）



セグメント利益／利益率



（百万円）	2023/3	2024/3		前期比（%）	計画比（%）
	実績	計画	実績		
受注高	29,640	29,600	32,936	+11.1	+11.3
受注残高	5,487	—	6,281	+14.5	—
売上高	28,518	29,600	32,143	+12.7	+8.6
保守点検	15,492	15,330	15,854	+2.3	+3.4
補修工事	13,025	14,270	16,289	+25.1	+14.2
セグメント利益	5,807	6,213	7,259	+25.0	+16.8

- 受注高、受注残高、売上高、利益のいずれも過去最高を更新。
- 人員増強などを図る中、補修工事を中心に、計画を上回る業績伸長。
- 需要が堅調な中、積極的な提案活動が奏功し、利益率は22%台の水準に回復。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

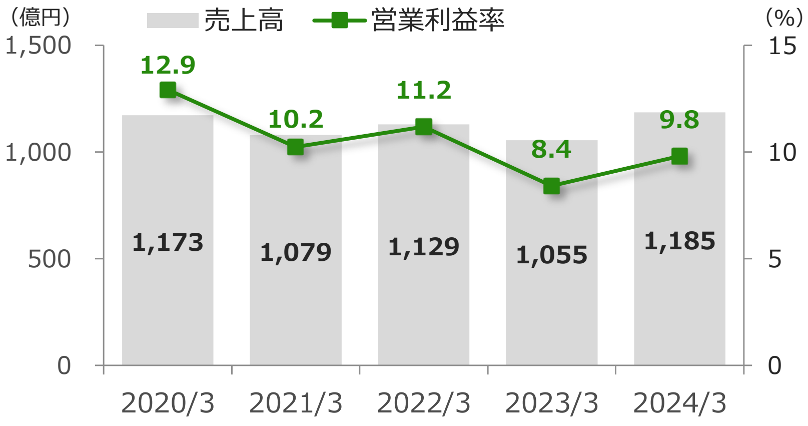
期待の先をカタチに

transformation

2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

企業価値向上への取り組みに対する現状評価・分析

売上高、営業利益率の推移

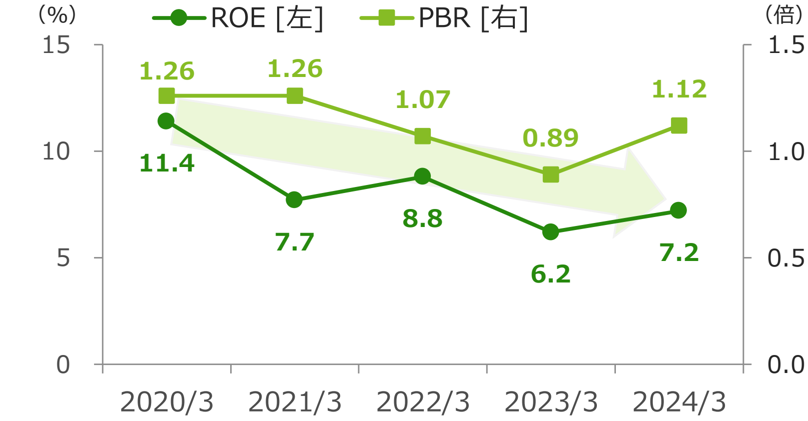


「中長期ビジョン2028」に基づく企業価値向上への各種取り組み

コロナ禍以降の厳しい事業環境

(部品の供給制約、原材料価格の上昇)

ROE、PBRの推移



ROEは資本コストを超過と認識 PBRも1倍を上回って推移

ここ数年のROEは低下傾向

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

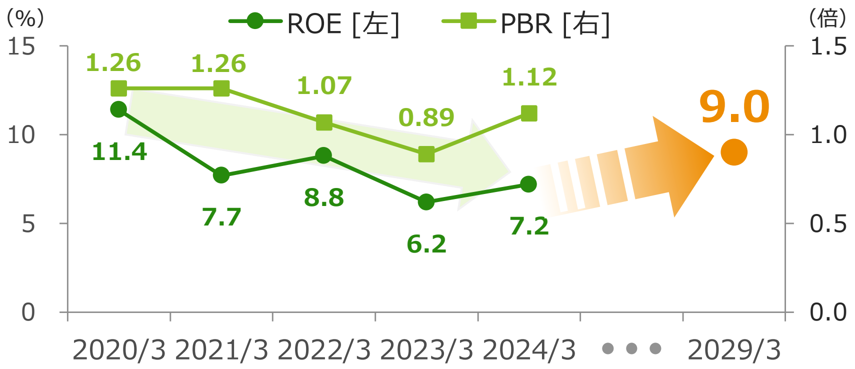
現状の改善に向けた方針・目標と具体的な取組み

中長期的な企業価値のさらなる向上のため、
資本コストや株価を意識した経営を一層推進

2028年度までに
ROE 9.0%以上
とすることを目指す

- ●収益性の向上
- ●株主還元の強化
- ●IR活動の充実

→ 資本効率の向上



中長期ビジョン2028の遂行

具体的な取組み

1）収益性の向上

重点施策 **成長に向けた投資**

- ・基盤整備 ⇒ 原価低減の実現
- ・人的資本投資 ⇒ 競争力の向上
- ・M&Aの活用 ⇒ 事業領域の拡大

2）株主還元の強化

新たな配当性向目標の設定

自己株式の取得

3）IR活動の充実

継続的な株主・投資家との対話

統合報告書の発行開始（2023年～）**等**

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

成長に向けた投資

中長期ビジョン2028 ～ 期待の先をカタチに ～

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

未来投資計画

ステージⅡ
（2023/3～2025/3）

- 研究開発 → 対売上高比率※ **3%**
- 成長投資・M&A・基盤整備
- 人財投資
- サプライチェーン強化 環境投資

→ 投資額 **300億円**

※2029/3期 時点

主な取り組み

- **主力工場である三鷹工場の移転新築**
  旧工場に比べ敷地面積は約３倍、延床面積は約５倍
  ⇒生産性の向上により、原価低減を図る
- **日昭設備工業（現：大分ノーミ）、坂本電設が能美グループ入り**
  積極的なM&Aを推進中
- **デジタルトランスフォーメーションへの投資**
  省人化に対応、クラウドを起点としたサービスを検討中
  基盤整備として新統合情報システムを開発中
- **人員の増強**
  2022/3期: 2,635名 ⇒ 2024/3期: 2,766名（連結）
- **教育研修の強化**

今後も収益性向上に向け、投資を確実に実行

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

中長期ビジョン2028 ～ 期待の先をカタチに ～

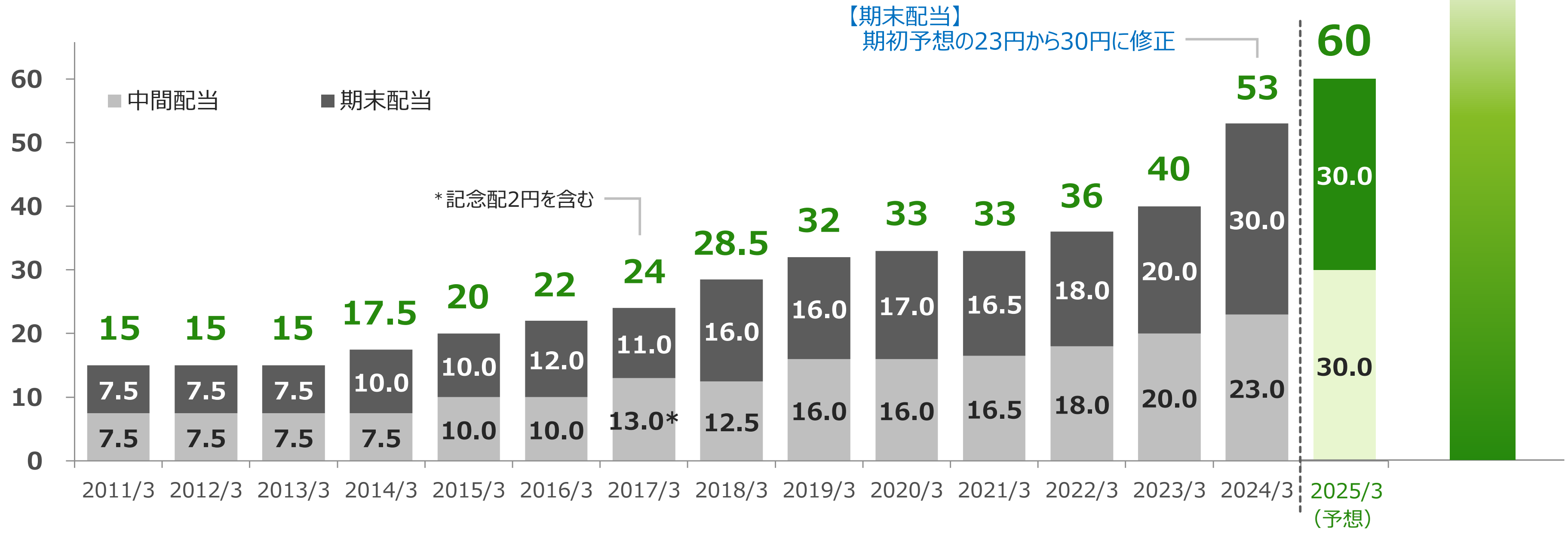
ステージⅡ期間の2025/3期までに連結配当性向を40%とした後、**2026/3期以降は50%とすることを新たな目標**として設定

ステージⅡ期間
（2023/3～2025/3）
2025/3期までに
連結配当性向
40%実現

2026/3期以降
50%へ

1株あたり配当金の推移　（単位：円）

＊1979/3期以降、特別配当を除き減配をしていません。



配当性向	48.5%	50.6%	31.4%	21.9%	21.4%	20.0%	20.8%	18.8%	24.7%	18.9%	26.1%	23.2%	34.4%	37.3%	**42.1%**

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

株主還元の強化　2/2

株主還元の充実および資本効率の向上を目的として自己株式の取得を実施

自己株式取得に係る事項の決定 (5/9公表)

取得し得る株式の総数

150万株＜上限＞ (発行済株式総数 [除、自己株式] の2.48%)

取得価額の総額

40億円＜上限＞

取得期間

2024/5/10 ～ 2024/5/15

取得方法

自己株式立会外買付取引 (ToSTNet-3) による買付け

ToSTNet-3による買付け

取得日

2024/5/10

取得した株式の総数

150万株

取得価額の総額

37.0億円

※ 本買付により、5/9付取締役会決議に基づく自己株式の取得は終了

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

IR活動の充実

決算説明会、個別ミーティングの実施

ホームページ掲載情報の充実

- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会　＜年2回、継続実施＞
- 個別ミーティング　＜随時実施＞

当社側対応者

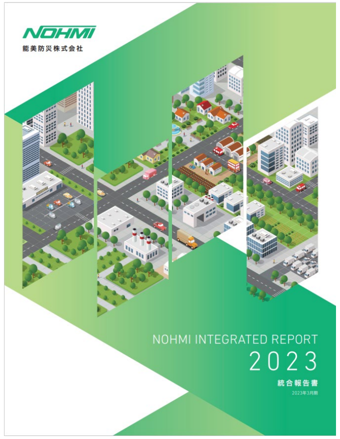
決算説明会：代表取締役社長および担当役員が出席
個別ミーティング：IRを担当する総務部が中心で対応

対話における主なテーマ

事業環境・内容／中期経営計画の進捗状況／今後の戦略／
株主還元等の資本政策／コーポレート・ガバナンス／価格改定の取り組み／
時間外労働の上限規制への対応 等

会社の持続的成長に向け、必要に応じて
対話の実施状況・内容を経営陣にフィードバック

統合報告書の発行開始（2023年～）



©2024 NOHMI BOSAI LTD.

3. 中長期ビジョン2028 ～ 期待の先をカタチに ～ の進捗状況

中長期ビジョン2028（2022年度～2028年度）について

中長期ビジョン2028

2020年3月期
～2022年3月期

ステージⅠ

前中期経営計画

2023年3月期
～2025年3月期

ステージⅡ

新中期経営計画

2026年3月期
～2029年3月期

ステージⅢ

・・・・

スタートにあたって、中長期ビジョンステートメントを策定。
長期的に目指す方向性を明確化。

※中長期ビジョンステートメントについてはP20を参照

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

外部環境認識

	国内建築市場の成熟化/消防法規制の改正	人口動態の変化 高齢化・労働力不足	社会インフラの老朽化	ICTの普及 新たな社会インフラ整備	海外における防災ニーズ拡大	自然災害の激甚化 環境問題の深刻化
社会動向、変化・課題	国内経済の成熟化 働き方改革の推進 消防法改正の動き 消防法規制緩和の可能性	働き手不足・高齢化 高齢者分野の新たな防災ニーズ高まり	建物老朽化・空き家 公共インフラ老朽化 BCP・自主防災拡大 文化財保護の動き	建築分野のDX化進展 防災分野のICT化 新たな社会インフラ整備	米中対立の深刻化 アジアの経済成長進む 各国での消防法整備	自然災害の激甚化 環境問題の深刻化
主なSDGs該当項目	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任つかう責任	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 11 住み続けられるまちづくりを	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任	1 貧困をなくそう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を

ありたい社会像

大切な命や財産・環境を守り、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

自社のありたい姿

- 既存事業領域を中心に独自防災システムを提供
- お客様の課題を起点に最適防災ソリューションを提供
- 防災監視のあらゆるシーンでお客様の課題解決を支援
- 高齢化・人手不足に対応した施工・メンテナンス体制確立
- 総合防災メーカーとして災害全般へ事業領域拡大

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

中長期ビジョンステートメント

期待の先をカタチに

transformation

「**期待の先**」にある安全を「**カタチ**」にし、
誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

大切な命や財産・環境を守り、誰もが安全を享受し笑顔で暮らせる社会を実現します。
そのために「**期待の先**」にある安全を、お客様とともに「**カタチ**」にしていき、
あらゆる場所へ届け、防災を常にリードしていく会社でありたい、それが私たちの思いです。
一人ひとりが「防災事業のパイオニアとしての使命」を自覚して、
能美グループを支えてくださる皆様の声に真摯に耳を傾け「**期待の先**」を感じ取る
洞察力を磨きながら探究心を持って活動していくことで目標を実現していきます。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

中長期ビジョンステートメント 2/2

<中長期ビジョンステートメント>

期待の先をカタチに
transformation

「期待の先」にある安全を「カタチ」にし、誰もが笑顔で暮らせる社会を実現する

自社のありたい姿

1. 既存事業領域を中心に独自防災システムを提供
2. お客様の課題を起点に最適防災ソリューションを提供
3. 防災監視のあらゆるシーンでお客様の課題解決を支援
4. 高齢化・人手不足に対応した施工・メンテナンス体制確立
5. 総合防災メーカーとして災害全般へ事業領域拡大

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

中長期ビジョンステートメント実現に向けて

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

人財・組織の知向上

飛躍的成長への人事戦略

個人と会社の成長サイクルを加速させ、
飛躍的成長を実現する

⇒P25、26参照

お客様との共創

未来共創プロジェクト

お客様への提案のカタチを変革し
提供価値を向上させる

⇒P23～24、26参照

成長への投資

未来投資計画

未来に向けた研究開発・M&A・設備・
人財・環境投資を計画

⇒P13参照

デジタルトランスフォーメーション（DX）

安定した製品・サービス供給体制をより強固にするサプライチェーンの実現

サステナビリティ経営推進による企業価値向上を前提とした課題対応

より高い付加価値を創造できる企業への変革

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

「未来共創プロジェクト」を中心とした社会課題の解決

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

飛躍的成長への人事戦略 → **未来共創プロジェクト** ← 未来投資計画

事業の深耕と探索
（既存領域の深耕と新領域の探索）

既存領域・新領域ともに、ソリューションの卵を創出し、
育成し続ける活動を仕組みとして根付かせ、
次世代の柱となる事業へ成長させる

社会課題の解決を前提に視座を高く	アイデアが出続ける仕組みを構築	アイデア育成を応援し続ける風土醸成

事業化に向けた継続的な投資

＋

提案型人財の育成

お客様が「あったらいいな」と感じている期待の先を洞察し、
自社の技術力・可能性や、他社の技術との紐づけから
ソリューションを創出できる人財を育成する

お客様の本質的な課題を洞察する力	０から１を発想する力	課題と技術との紐づけができる力

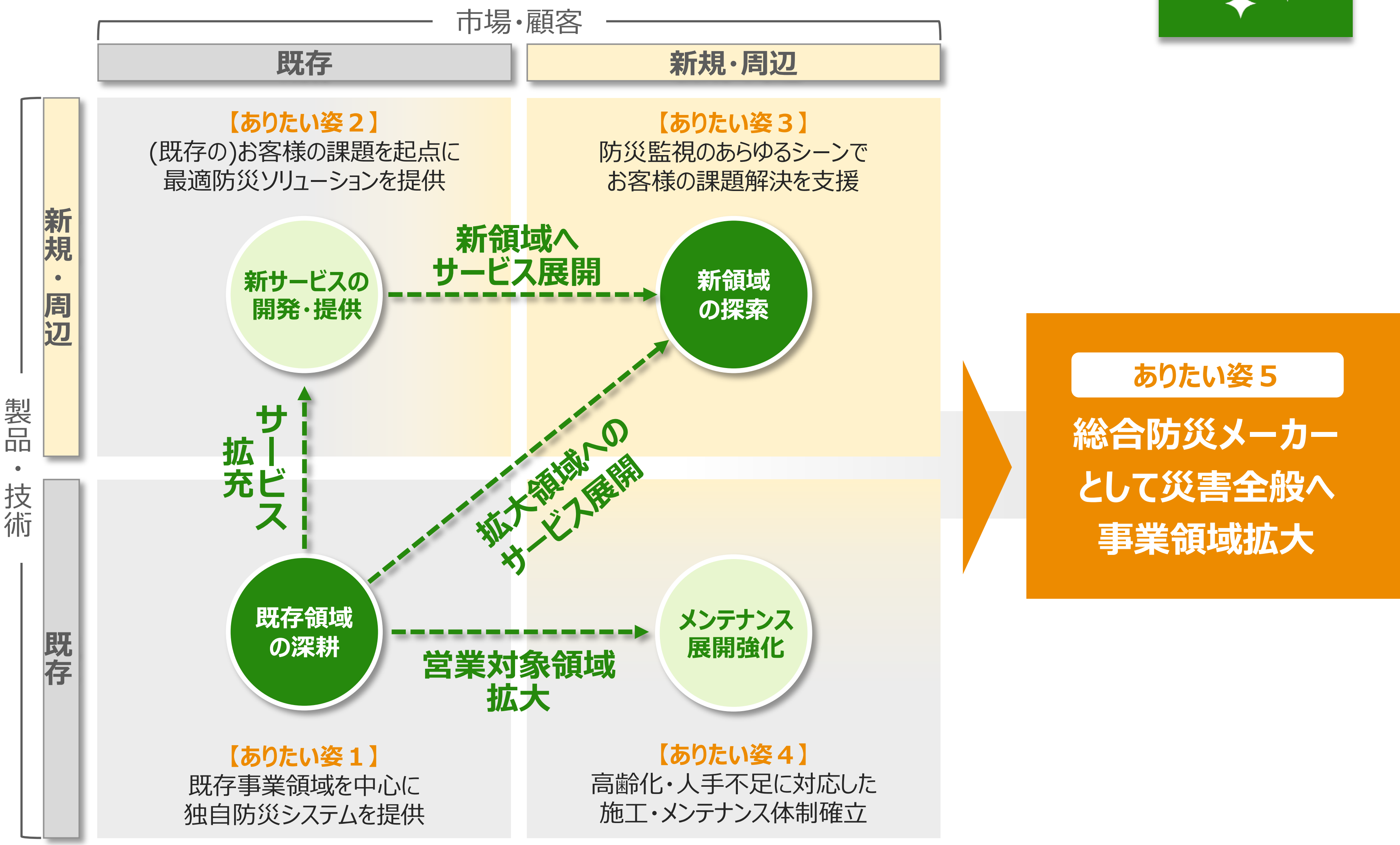
能動的に動く

提供価値向上

社会課題の解決力向上

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

事業戦略　～基本的な方向性～



©2024 NOHMI BOSAI LTD.

飛躍的成長への人事戦略

「期待の先」にある安全を「カタチ」にするために

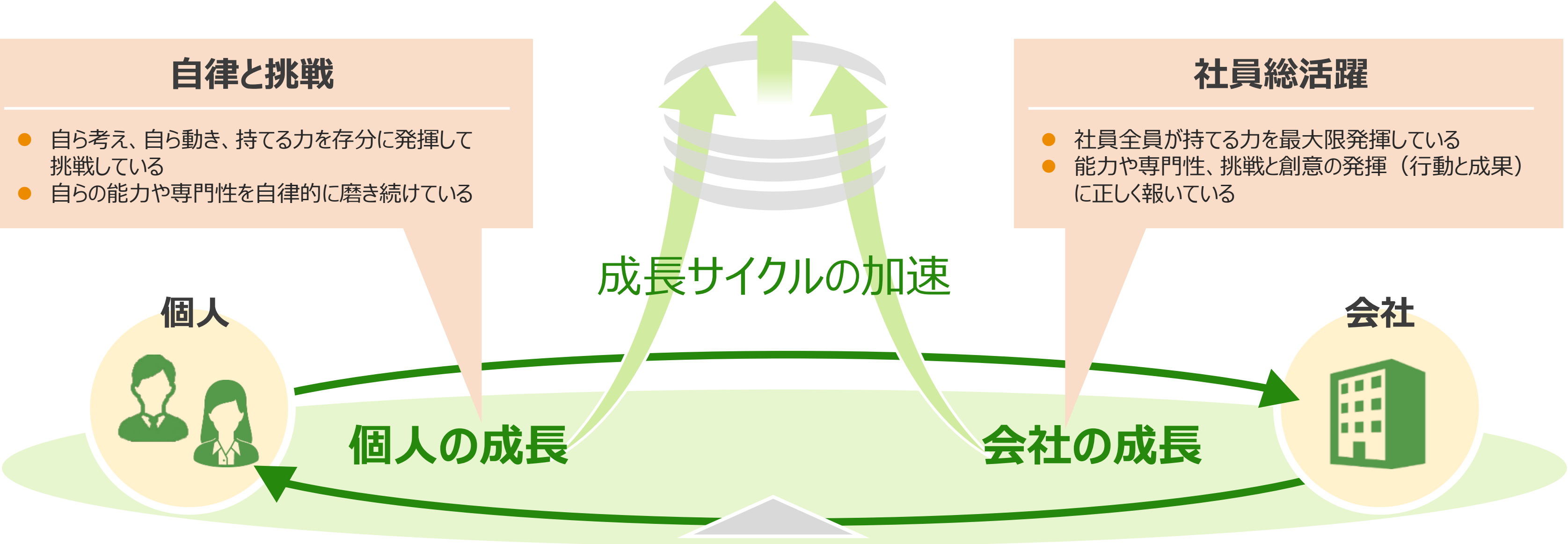
目指す姿

自律と挑戦

- 自ら考え、自ら動き、持てる力を存分に発揮して挑戦している
- 自らの能力や専門性を自律的に磨き続けている

社員総活躍

- 社員全員が持てる力を最大限発揮している
- 能力や専門性、挑戦と創意の発揮（行動と成果）に正しく報いている



活躍・成長を支える
環境・風土

活躍・成長基盤の整備

- 個々の希望や事情に合わせてより柔軟に働くことができている
- 一人ひとりの個性が尊重され、多様な人財による共創が生まれている

方針

働き方改革	採用	人事制度	異動配置	育成	ダイバーシティ
多様・柔軟な働き方の強化と、業務の省力化・合理化を推進する	中長期ビジョンに沿った人財要件を定め、既存領域とともに新領域の人財採用力を強化する	安心感のある人事制度を基盤に、期待する役割と成果の程度に応じた評価・処遇を両立させる	人員配置の最適化を進めるとともに、個人・会社両視点に立った計画的な異動を実現する	成長スピードを向上させる機会を提供し、社員自身が選択する	多様な能力・価値観を持つ人財を受け入れ、活躍・成長する機会を創出・提供する

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

未来共創プロジェクトおよび人事戦略への取り組み状況

未来共創プロジェクト

飛躍的成長への
人事戦略

「期待の先BOX」の運用開始

プロジェクト形式の新規事業創出活動の継続に加え、
社員全員が「期待の先」を考え、提言できる機会を設定

期　間	**第一弾：2023年6～８月** **第二弾：2023年10～12月** **（2024年1月まで延長）**
対象者	**能美防災全社員** ⇒ 最終的にグループ全役職員へ拡大
内　容	**「新規サービス・製品」部門** **「業務改善」部門**

約1,000件のアイデアを収集

人事戦略の取り組み加速

提案型人財育成の推進
⇒ 未来共創プロジェクトへの取り組み

ダイバーシティ＆インクルージョン推進に向け
「女性活躍推進委員会」の設置

2024年度より、人事部内に
「人事企画・DE＆I推進グループ」を設置

「DE&I」・・・ Diversity（多様性）
Equity（公平性）
Inclusion（包括性）

着実な成果

既存領域の深耕と新領域の探索
提案型人財の育成推進

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

既存領域の深耕事例

主力製品であるＰ型自動火災報知設備の新製品
「進ＰⅣ™システム」と「Ｐ型１級火災・複合火災受信機」の販売開始（2024年4月～）

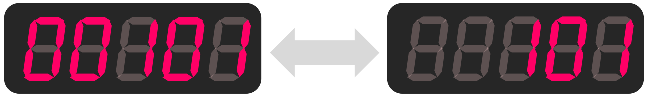
特徴（共通）

視認性・操作性の向上
- ・グラフィックタイプの液晶ディスプレイを採用し、
  異常表示などをコード表記ではなく、日本語表記に変更
- ・ガイド機能を搭載

画面変更イメージ

（従来品画面）

回線・アドレス表示　　部屋番号表示



切り替えて確認

（液晶ディスプレイ）

火災警報　01/01
火災
L1回線 ｱﾄﾞﾚｽ1
101号室

進ＰⅣ™システム

FCSJ107S-R-20LT

特徴

進ＰⅣ感知器の情報量の向上※

- ✓ 検知した煙濃度、温度の推移がグラフ表示可能
- ✓ 感知器ごとの汚れ量表示が可能
  ⇒感知器の更新時期の把握を容易化

※当社調べ ／ 国内メーカーＰ型１級火災/複合火災受信機が対象

Ｐ型１級火災・複合火災受信機

FCSJ106N-B1-40LT

特徴

- ✓ LCD画面に各種ガイドを表示可能
  ⇒必要な情報を素早く確認
- ✓ 使いやすさを意識したデザイン
  ⇒操作部は直線的なデザインとし、
  液晶ディスプレイを中心にスイッチ等を配置

新築市場、リニューアル市場のいずれにも積極的に提案し、シェアアップを図っていく

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

トピックス 1/2：サステナビリティへの取り組み

環境に配慮した泡消火薬剤の開発

特徴

長年蓄積した泡消火技術を駆使し、成分の全面的見直しを実施することで『PFAS*不使用』でありながら、
高温・高煙濃度の火災環境下において高い発泡性能と消火性能を実現

*PFAS：有機フッ素化合物（ペルフルオロアルキル化合物またはポリフルオロアルキル化合物）の総称で、自然界では分解しないため、
人体などへの悪影響が懸念されている物質

有煙環境下での発泡状態比較（PFAS不使用／合成界面活性剤泡消火薬剤）

今回開発品

（高発泡消火設備「インサイドエアHi-ExシステムPerf-Ex」用）

一般市販品

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

トピックス 2/2：企業価値向上に向けたガバナンスの充実

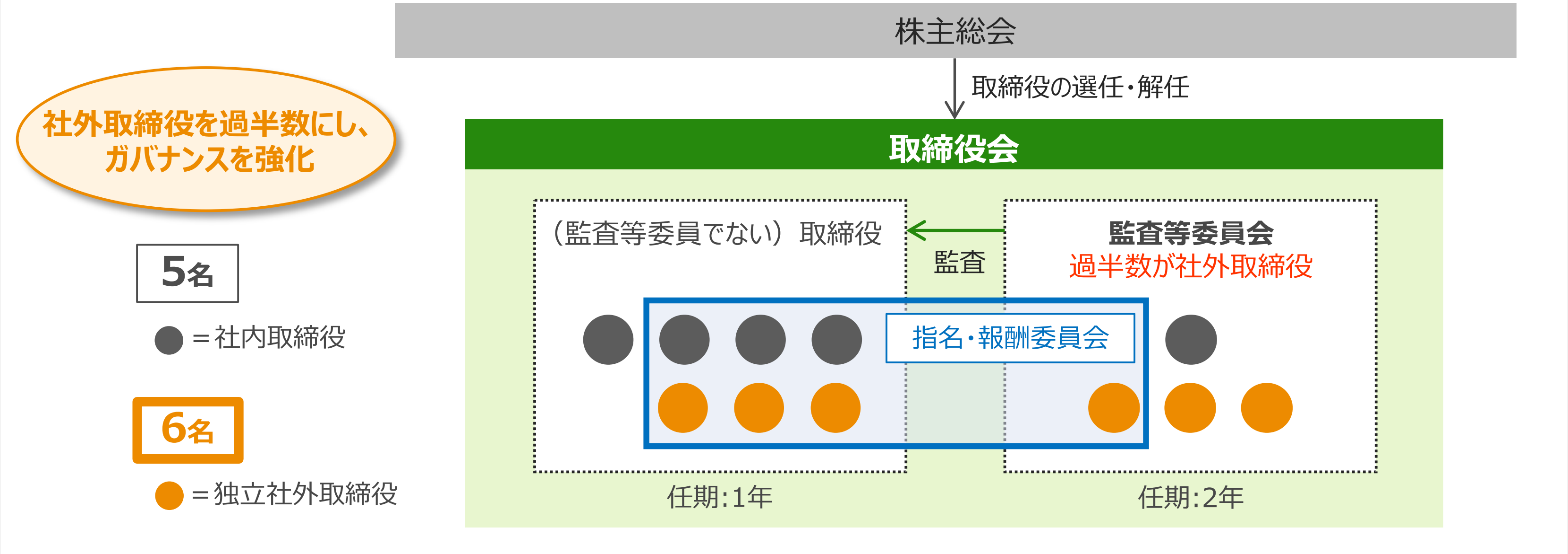
監査等委員会設置会社への移行

移行の目的

・取締役会の監督機能の強化、さらなる監視体制の強化を通じたより一層のコーポレート・ガバナンス充実
・経営の意思決定の迅速化、取締役会における議論の充実化

さらなる企業価値の向上へ

移行後のガバナンス体制



©2024 NOHMI BOSAI LTD.

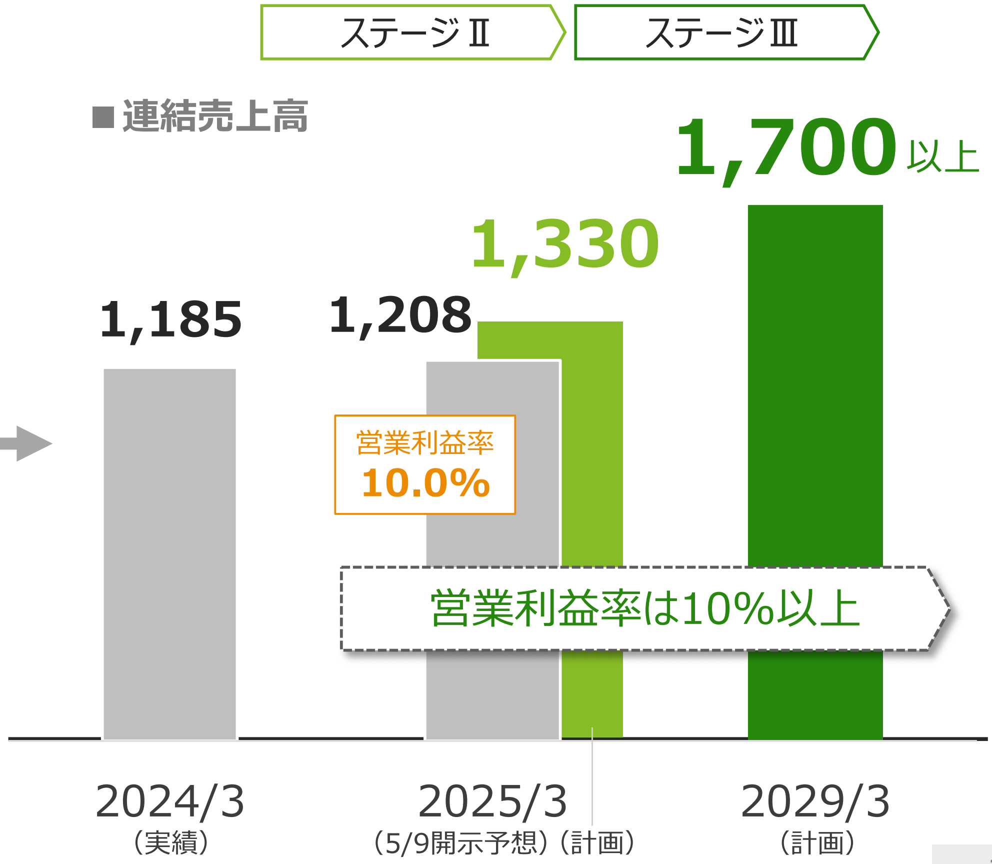
数値目標

サプライチェーン強化、価格改定への注力、中長期的な人員強化や業務効率化、成長投資の積極化等で収益性向上をはかり、2029/3期の目標達成を目指す

（単位：億円）

	2024/3（実績）
受注高	1,234
売上高	1,185
営業利益	116
(利益率)	(9.8%)
経常利益	122
親会社株主に帰属する当期純利益	85
ROE	7.2%

中長期経営目標 （単位：億円）



©2024 NOHMI BOSAI LTD.

期待の先をカタチに
transformation

4. 2025年3月期　連結業績予想

2025年3月期 連結業績予想

（百万円）

	2024/3	2025/3	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率
受注高	123,492	**118,000**	△5,492	△4.4%
売上高	118,506	**120,800**	+2,293	+1.9%
売上総利益	39,473	**41,400**	+1,926	+4.9%
(利益率)	(33.3%)	**(34.3%)**	(+1.0pt)	―
販管費	27,810	**29,300**	+1,489	+5.4%
営業利益	11,662	**12,100**	+437	+3.7%
(利益率)	(9.8%)	**(10.0%)**	(+0.2pt)	―
経常利益	12,242	**12,400**	+157	+1.3%
親会社株主に帰属する **当期純利益**	8,574	**8,600**	+25	+0.3%
EPS（円）	142.10	**142.53**		
ROE	7.2%	**7.2%**		

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

受注高は高水準で推移し、前々期を上回る想定

過去最高であった前期に比べると減少の予想だが、前々期は上回る想定
2024年4月から建設業にも適用される時間外労働の上限規制の影響を懸念

過去最高の受注残高を背景に増収増益

コロナ禍の影響による部品の供給制約や物価の高騰などが、
中長期ビジョンの数値目標に対する進捗に影響（P30参照）
時間外労働の上限規制の影響も懸念されるが、前期に比べ増収増益の予想

収益性向上に向けた取り組みを加速

価格改定や業務効率化に取り組み、営業利益率は目標の10%以上達成を見込む
2029/3期の目標に向けて各種施策を積極化し、さらなる収益性向上に取り組む

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

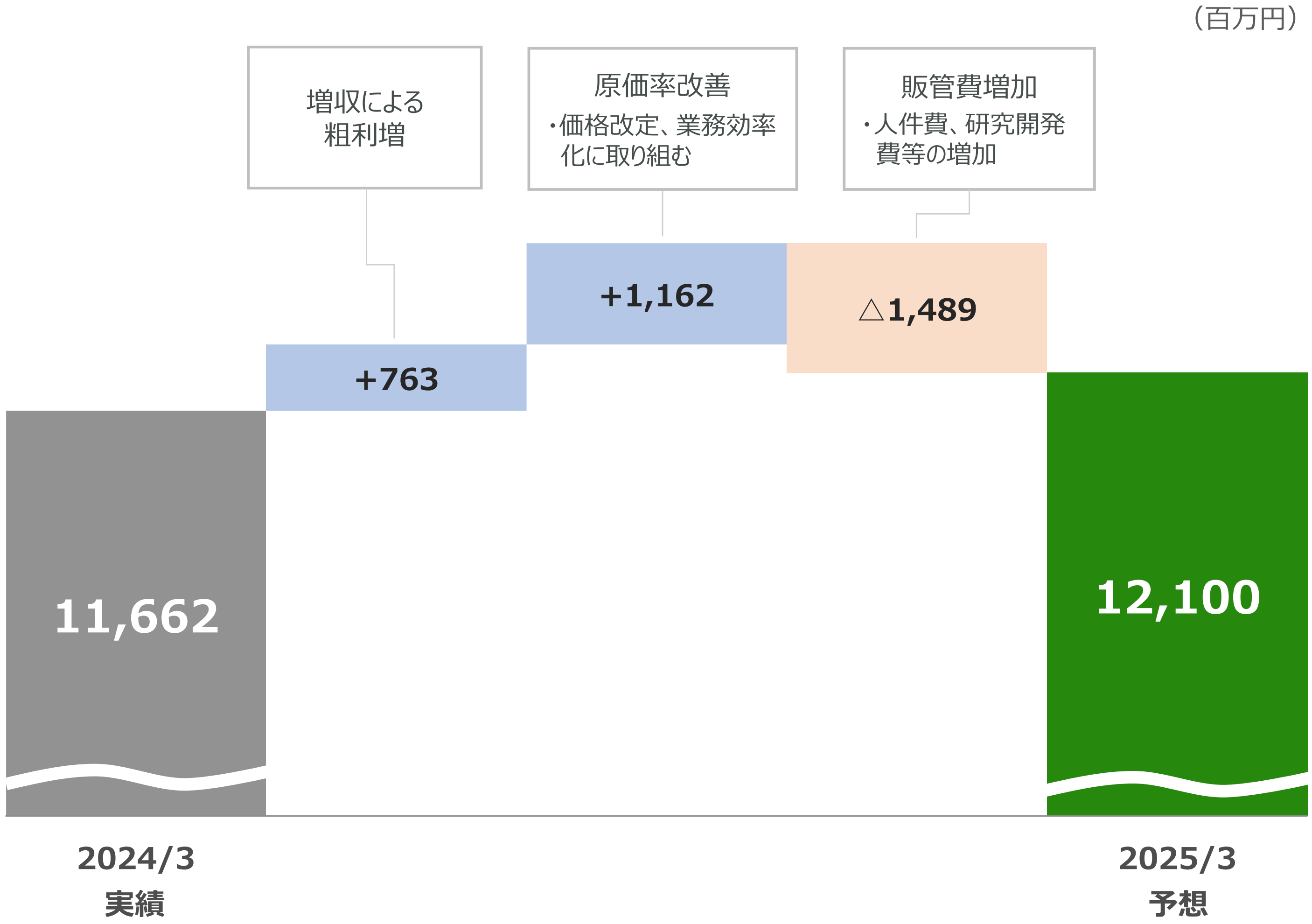
セグメント別売上高・利益予想

（百万円）

		2024/3	2025/3	前期比	
		実績	予想	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	43,259	**44,254**	+994	+2.3%
	セグメント利益	7,674	**8,035**	+360	+4.7%
	(利益率)	(17.7%)	(18.2%)	(+0.5pt)	—
消火設備	売上高	38,275	**41,630**	+3,354	+8.8%
	セグメント利益	5,020	**6,252**	+1,231	+24.5%
	(利益率)	(13.1%)	(15.0%)	(+1.9pt)	—
保守点検等	売上高	32,143	**30,300**	△1,843	△5.7%
	セグメント利益	7,259	**6,542**	△716	△9.9%
	(利益率)	(22.6%)	(21.6%)	(△1.0pt)	—
その他	売上高	5,309	**5,095**	△213	△4.0%
	セグメント利益	251	**247**	△4	△1.6%
	(利益率)	(4.7%)	(4.8%)	(+0.1pt)	—
消去または全社	売上高	△481	△481	—	—
	セグメント利益	△8,542	△8,977	△434	—
連結	売上高	118,506	**120,800**	+2,293	+1.9%
	営業利益	11,662	**12,100**	+437	+3.7%

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

営業利益予想増減分析

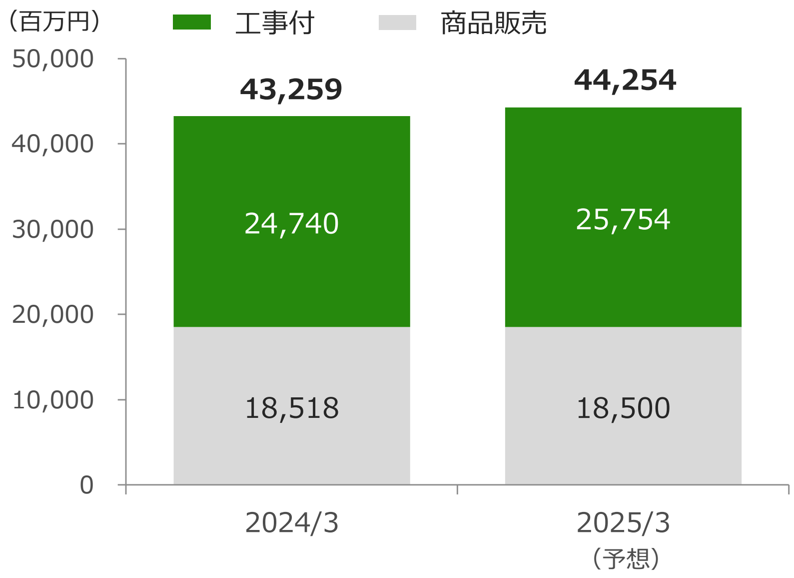


©2024 NOHMI BOSAI LTD.

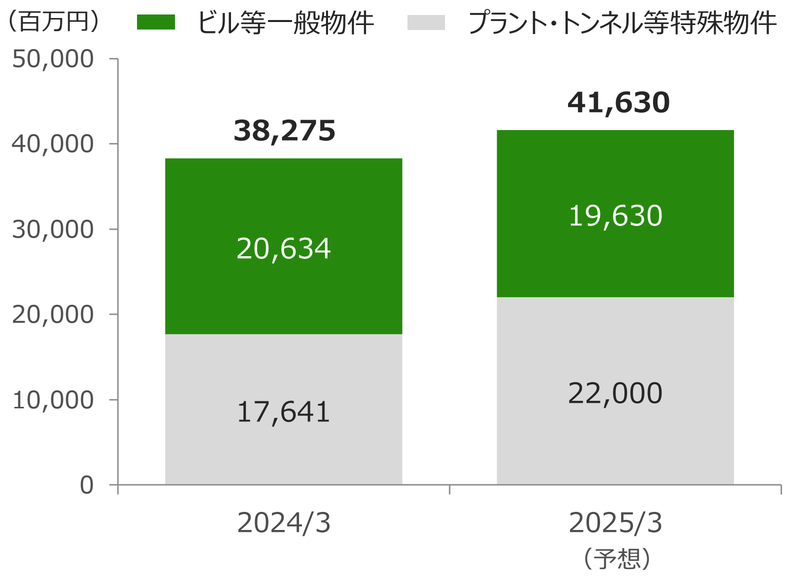
セグメント別売上高予想①

火災報知設備　消火設備　保守点検等

火災報知設備



消火設備



- 新築、リニューアルともに堅調な市場環境が続いていることを背景に、過去最高であった前期を上回る売上高を目指す。

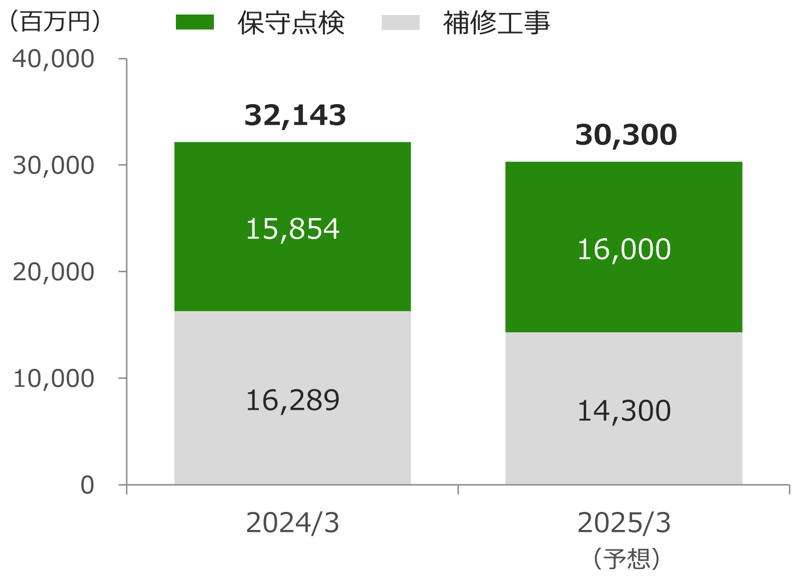
- 特殊物件を中心に積み上げた高水準の受注残高を背景に、セグメント全体で増収を見込む。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

セグメント別売上高予想②

火災報知設備 消火設備 **保守点検等**

保守点検等



● 前期に物件が集中した面があり、過去最高の業績となった前期に比べると一旦落ち着くものの、引き続き安定した業績を見込む。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

5. 参考資料

防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業

商号	能美防災株式会社
本店所在地	東京都千代田区九段南四丁目７番３号
設立	1944 [昭和19]年 5月 5日 ※創立は1916年 [大正5年] 12月
代表者	代表取締役社長 岡村 武士
資本金	13,302百万円 ※2024年3月末
従業員数	2,766名 ＜連結＞ ※2024年3月末
事業内容	防災に関する受託実験・企画・提案 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守 上記機器の設計、製造、販売 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売、保守

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

沿革

創立100周年
株式上場
創立

- 2024　新型のP型自動火災報知システムを販売開始
  PFAS（有機フッ素化合物）不使用の環境配慮型泡消火薬剤を開発
- 2022　東京証券取引所プライム市場に上場
  三鷹工場を移転新築
- 2021　VRコンテンツ「火災臨場体験VR～混乱のオフィス～」をリリース
- 2019　クラウド型防災支援ソフト「TASKis」を発売
- 2018　中・大規模建物向け防災システム「R-26C」を販売開始
- 2017　妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノリウムメヌマ」を開設、
  メヌマ工場を拡大
- 2016　消火剤噴霧自動消火システム「SPlash α」を販売開始（創立100周年）
- 2014　「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞
- 2013　画像処理煙検知システムを販売開始
- 2010　三郷市に研究開発センターを開設
- 2009　火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を販売開始
- 2006　セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
- 2004　住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始
- 2002　自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始
- 1995　中国に合弁会社「北京能美西科姆消防設備有限公司」を設立
- 1991　東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1987　青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置
- 1974　LNG基地防災システムを開発
- 1968　霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初>
- 1962　名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置（株式上場）
  <高速道路トンネルとして国内初>
  東京証券取引所市場第二部に上場
- 1936　皇居に火災報知設備を設置
- 1933　三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>
- 1924　前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始
- 1916　能美輝一、能美商会を創立（創立）

<R-26C>

<能美テクノリウムメヌマ>

<メヌマ工場>

<研究開発センター(三郷)>

<リング型表示灯付発信機>

<PROTECVIEW>

<能美輝一>

<宮中奥御殿（皇居）完工記念>

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

事業領域

火災報知設備

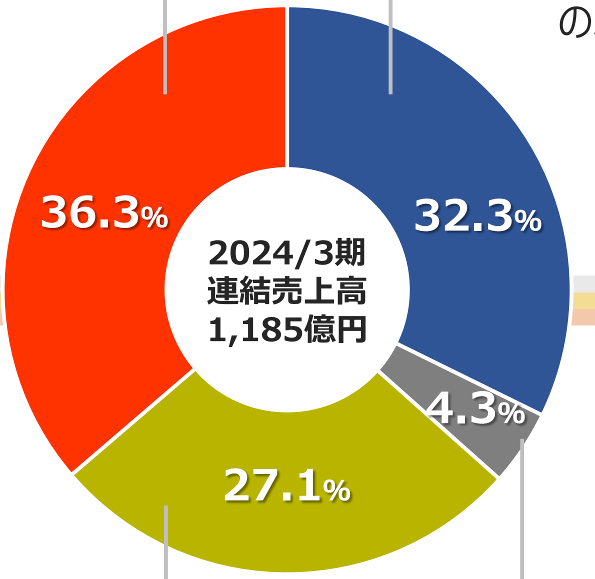
自動火災報知設備、環境監視システム、防火・防排煙設備等の製造販売及び取付工事を実施

【主要営業品目】
- 火災報知設備
- ガスもれ警報設備
- 避難誘導設備
- 環境監視システム
- 防火・防排煙設備
- 非常用放送設備
- 住宅防災システム

消火設備

スプリンクラー設備、泡消火設備、プラントやトンネルの防災システム等の製造販売及び取付工事を実施

【主要営業品目】
- スプリンクラーなど消火設備
- プラント防災システム
- トンネル防災システム



各種防災機器に係る保守点検・補修業務

保守点検等

駐車場車路管制システムの取付工事・保守 等

その他

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

総合防災力

- 研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒施工 ⇒メンテナンスまで
一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能

一貫した責任体制

研究・開発 → 製　造 → 営業・設計 → 施　工 → メンテナンス

- 幅広い品揃えにより、様々な施設、
防災ニーズに対応が可能

©2024 NOHMI BOSAI LTD.

長い社歴の中で強みが磨かれた５つの要素

1 総合防災に関する開発、設計、施工等の『**技術力**』

2 豊富な実験により蓄積された火災に関する『**ノウハウ**』

3 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな『**施工力**』

4 実績とともに築かれた関係各所からの『**信頼**』

5 日本全国に敷かれた充実した『**代理店網**』

※あらゆる火災発生状況を想定したシミュレーション

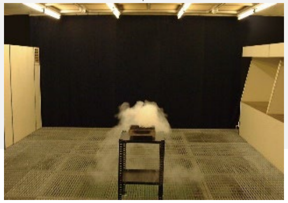
ラック式倉庫火災実験

自動車塗装ブース火災実験

高発泡消火実験

煙の流動実験

クリーンルームでの発煙実験



©2024 NOHMI BOSAI LTD.

注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、

能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、

この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、

本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

©2024 NOHMI BOSAI LTD.